

内容見本(B5判縮小)

第1章 第1 事故が起こりやすい場所の危機管理

(2) 遊戯室(ホール)

○遊戯室(ホール)の事故の予防

遊戯室(ホール)は、園行事で園児が一堂に会したり、悪天候の際の園庭での遊びに代わる場となったりします。園行事としては、入園式、修了式(卒園式)や歓迎会、生活発表会などの式典や幼児の保健の発表。保護者とともに遊ぶ催し等があります。他にも様々な活動を展開する場合があります。また、幼児が午睡する場所もあり、遊戯室は幼児教育施設における重要な活動の場となることがあります。幼稚園施設設備指針には遊戯室について以下のように記されています。

2 遊戯室

- (1) 空間構成、位置等
 - ① 保育室との連携や、特に降雨、降雪時の利用を十分検討し、規模、位置等を適切に計画することが重要である。その際、保護者や地域住民による利用や、近隣の小学校の児童等との交流も考慮して計画することが望ましい。
 - ② 保育室やホールと連続して計画し、一体化の利用も行えるよう考慮することも有効である。その際、幼児の日常の動線となる空間を確保できるように計画することが望ましい。
 - ③ 運動に使う遊具、大型の遊具等を収納するための空間を、日常の出し入れに便利な位置に確保することが望ましい。
 - ④ 津波等災害時に、遊戯室を緊急避難場所として利用するために、上層階に計画することも有効である。その場合には、日常の教育活動に支障を生じない動線計画とともに、避難者が円滑に避難できるよう階段の位置等を計画することが重要である。
- (2) 面積、形状等
 - ① 幼児が安全にしかも伸び伸びと活動できる面積、形状とすることが重要である。
 - ② 活動の内容や方法に応じて各種の園具、遊具等の配置を換えたり、様々なコーナーを形成できる面積、形状とすることが望ましい。
 - ③ 避難時や行事の利用者の動線も考慮しつつ、幼児等が円滑かつ安全に移動できる出入口の位置、幅等を計画することが重要である。
 - ④ 幼児の発表、保護者の交流、様々な行事等に必要な照明、音響、ステージ、暗幕等の設備を適切に設置できる空間を確保することが重要である。

(幼稚園施設設備指針第3章第2・2)

第1章 第1 事故が起こりやすい場所の危機管理と対応

遊戯室は単独であったり、複数の部屋で構成されている場合など、設計や置かれている場所によって、危険性が異なることがあります。

具体的な事故予防の取組方法を解説しています。

していないかたにとっていま

危機管理

1 遊戯室の活用別の危険性をチェックする視点

遊戯室は、保育室よりも広く作られている場合が多く、その用途も多岐にわたります。そのため、安全な動線を確保するため、設置される位置や構造によって、目的別にその危険性をチェックする視点をもつ必要があります。

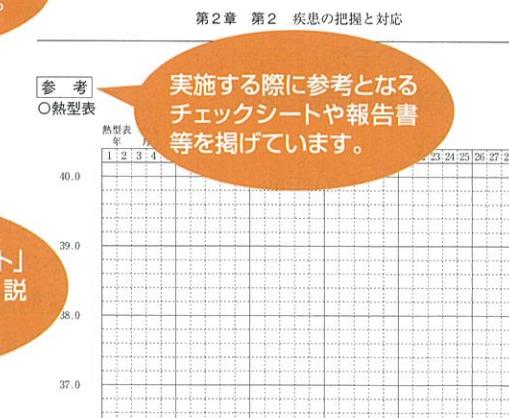
- | 予防チェックリスト | |
|---|--------------------------|
| ① 保育室と連携して遊びを展開する場合、安全な動線を確保できているか | <input type="checkbox"/> |
| ② 行事で使用する場合、活動内容や人数に見合った広さが確保されているか | <input type="checkbox"/> |
| ③ 行事で使用する場合、園児と大人の動線に危険がないか | <input type="checkbox"/> |
| ④ 午睡の場所として使用する場合、園児が寝るスペースが十分に確保できているか | <input type="checkbox"/> |
| ⑤ 午睡の場所として使用する場合、大型遊具やガラスの窓からの距離を確保できているか | <input type="checkbox"/> |
| ⑥ 多数が集う場所として活用する場合、非常時の避難路の確保や避難時の指示、職員の役割分担ができるか | <input type="checkbox"/> |

- ⑦ 保育室と連携して遊びを展開する場合、安全な動線を確保できているか

保育室の遊びにつながる遊びが遊戯室で行われる場合は、幼児が行ったり来たりすることが多くなります。そのため、安全な動線の確保は必須となります。また、どんな遊びが連携して展開するのかによって、遊戯室に広げられる遊びがいくつか考えられます。運動的な要素が入っている場合には運動マットや移動式鉄棒などの使用を考えられますし、ごっこ遊び的なものは、大型積み木で遊びの拠点を作っていくことが考えられます。また、保育室内で使用しているままごと道具などが遊び込

リスクチェックのポイントを掲げています。

「予防チェックリスト」の実践方法を解説しています。



- ★本書は、経済的な加除(さしかえ)式書籍です。
 ●法令改正などに対応して発行される追録(低価格)をさしかえるだけで常に最新内容になり、その都度、新しい書籍を購入する必要がありません。
 ●さしかえしない部分はそのまま利用できますので、資源保護につながり、環境にも配慮しています。
 ●ご希望により、さしかえ作業の無料サービスをうけたまります。

関連する法令条文や通知・ガイドライン等を掲載しています。

第1章 第1 事故が起こりやすい場所の危機管理と対応

(5) 園外活動での事故等の対応

○園外活動でのケガ・事故等の対応

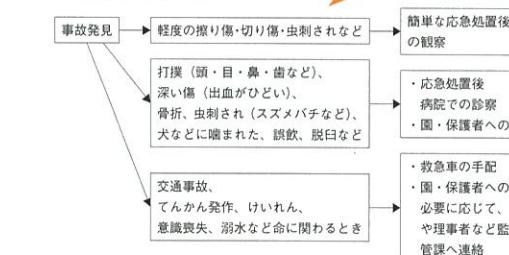
細心の注意を払っても、予期しない事故が起こらないとも限りません。万が一事故などが起きた場合は、慌てずに的確な判断を行い、子どもの応急処置に当たり、必要に応じて、園や病院、救急車、警察などへ速やかに連絡。

フローチャートを用いて対応の流れを解説しています。

対応

1 ケガ・事故などの対応

(1) 事故発生時の基本的な対応



事故が起きた場合、どのような事故なのかどの程度のケガなのかによって、有効な対応を瞬時に判断することが求められます。その上で、引率している保育者がそれ

幼保施設に潜むリスクから子どもと保育者を守るために!!

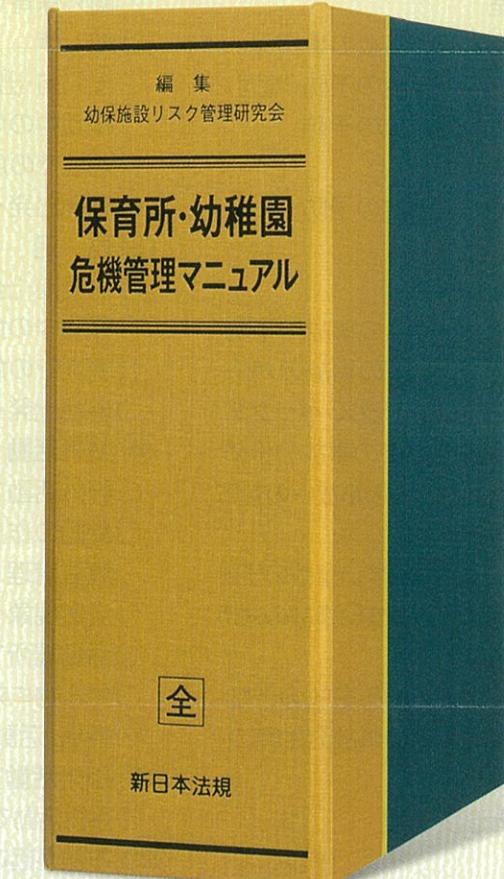
保育所・幼稚園 危機管理マニュアル

編集 幼保施設リスク管理研究会

代表 斎藤 政子(明星大学教授)

井上 宏子(明星大学特任教授)

奥田 晃久(明星大学特任教授)



保育現場の危機管理について根拠となる法令・通知・ガイドライン等を掲げてリスク毎に予防と対応を解説しています。

事故等の予防方法や発生後の現場対応・応急処置を、チェックリストやフローチャートを用いてわかりやすく解説しています。

事故事例やヒヤリ・ハット事例、危機管理・対応のためのチェックシート・報告書などのひな形を多数掲載しています。

幼保施設の危機管理に造詣の深い研究者と現場業務を熟知したベテラン保育者が協働して執筆しています。

0120-089-339 受付時間 8:30~17:00
(土・日・祝日を除く)

WEBサイト <https://www.sn-hoki.co.jp/>

E-mail eigyo@sn-hoki.co.jp

法令情報を配信!



加除式・B5判・全1巻・ケース付・総頁912頁
定価 12,100円(本体11,000円) 送料730円

■加除式書籍は、今後発行の追録(代金別途)と併せてのご購入となります。

●パインダー方式によりさらに使いやすくなりました。(特許 第3400925号)

総合法令情報企業として社会に貢献

新日本法規出版

f 公式Facebookページ
法律出版社ならではの情報を発信



第1章 日常の保育に関する危機管理と対応

第1 事故が起こりやすい場所の危機管理と対応

1. 保育環境

- 保健的で安全な保育環境の確保
- 事故の原因究明と保育者の注意義務
- 事故発生の危険が潜む時間（活動）
- 園内での事故の対応

2. 屋内

(1) 保育室

- 保育室内での事故の事例
- 保育室内の事故の予防（乳児）
- 保育室内の事故の予防（3歳未満児）
- 保育室内の事故の予防（3歳以上児）

(2) 遊戯室（ホール）

- 遊戯室（ホール）の事故の予防
- 遊戯室（ホール）の事故の対応

(3) 廊下・階段・窓・テラス・ベランダ

- 廊下・階段などの事故の予防
- 廊下・階段などの事故への対応

(4) トイレ

- トイレで起こりやすい事故の予防
- トイレで起こりやすい事故の対応

(5) 暖房器具

- 暖房器具等による事故の予防
- 暖房器具等での事故発生時の対応
- 換気と温度管理

3. 屋外

(1) 園庭

- 園庭での事故の予防
- 園庭での重大事故への対応
- 園庭でよく起こる事故の予防
- 園庭でよく起こる事故の対応

(2) 固定遊具

- 固定遊具による事故の予防

○固定遊具による事故への対応

(3) 砂場

- 砂場での事故の予防
- 砂場での事故への対応

(4) 花壇・畑

- 花壇・畑での事故の予防
- 花壇・畑での事故の対応

(5) 飼育小屋

- 飼育動物による事故の予防
- 飼育動物による事故への対応

4. 園外

(1) 園外保育

- 園外保育（活動）での事故事例

(2) 散歩

- 出発前・出発時の危機管理
- 移動中の危機管理
- 現地での危機管理
- 現地出発・帰園時の危機管理

(3) 遠足

- 出発前・出発時の危機管理
- 移動中の危機管理
- 現地での危機管理
- 現地出発・帰園時の危機管理

(4) 野外活動

- 野外活動での効果と危険要素
- 計画の作成・実施に当たっての危機管理

(5) 自然現象への危機管理

- 活動場所での危機管理
- 生き物に対する危機管理
- 道具、活動、健康管理

(5) 園外活動での事故等の対応

- 園外活動でのケガ・事故等の対応

第2 事故が起こりやすい場面の危機管理と対応

1. 睡眠

- 乳幼児突然死症候群（SIDS）・睡眠時無呼吸症候群（SAS）
- 睡眠時の事故の予防
- 睡眠時の呼吸停止の対応

2. 食事

○基本的な衛生管理

- 食中毒発生時の対応
- 食物アレルギーの防止
- 食物アレルギーの対応
- 誤嚥・窒息の防止
- 窒息の対応
- やけどの防止
- やけどへの対応

3. 浴浴

- 沐浴での事故の予防と手順

4. プール・水遊び

- プール遊び・水遊びにおける乳幼児の特性とリスク
- プール・水遊びの事故の予防
- プール・水遊びの事故の対応

第2章 園児への応急手当

第1 外傷などの種類と対応

- 外傷の種類と応急手当
- 頭部外傷の対応
- 頭部以外の部位の外傷の対応
- 虫刺されの対応
- 誤飲の対応
- 光化学スマッグの対応
- 熱中症の予防
- 熱中症の対応

第2 疾患の把握と対応

1. 急性期に起こりやすい症状

- 発熱
- 発疹
- 腹痛
- 嘔吐
- 下痢
- 脱水
- 咳、喘鳴、呼吸困難
- けいれん
- 意識障害

2. 慢性疾患

- アレルギー疾患
- 気管支喘息
- アトピー性皮膚炎

○アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎

- 食物アレルギー
- アナフィラキシー

(2) 心疾患・腎疾患

- 心疾患
- 腎疾患

第3 救命処置

- 誤嚥（気道異物）
- 心肺蘇生法

第4 健康管理と対策

- 予防接種
- 投薬

第5 感染症

- 感染経路対策と予防
- 感染の可能性がある場合の対処
- 感染力の強いウィルス・細菌への対処（ノロウイルス感染症、アデノウイルス感染症、腸管出血性大腸菌感染症、新型コロナウイルス感染症（COVID-19））

4. 火災

- 予防体制の整備
- 消火器設備の点検
- 火災発生時の対応

5. 避難訓練

(1) 避難訓練の実施

- 年間避難計画の策定と消防署への報告
- 緊急連絡体制の整備

(2) 災害時のための備蓄

- 災害時に必要な備蓄
- 非常食の備蓄

第4章 園運営に関する危機管理と対応

第1 園運営に関する危機管理と対応

1. 個人情報保護の対応

- 個人情報とは
- 個人情報取扱事業者とは
- 個人情報漏えいの危機管理
- 個人情報の漏えい又はそのおそれが発生した場合の対応
- 本人からの求めによる保有個人情報の開示・訂正・利用停止

2. 保護者からの苦情対応

(1) 園内で発生した事故により保護者から苦情が発生した場合

- 園児同士のトラブルが損害賠償に発展した事例
- 苦情の引き金と実際

(2) 遊具でのケガが「苦情」につながる場合

- 園児同士のトラブルが「苦情」につながる場合

(2) 園内の職員の対応に対して保護者からの苦情が発生した場合

- 苦情の要因と予防
- 苦情への対応

3. マスコミ対応

- マスコミ取材への危機管理
- マスコミ取材への対応
- 緊急記者会見の必要性と目的

○マスコミ報道後の情報拡散への対応

第2 不審者や職員の園児への暴力と危機管理

1. 防犯・不審者への対応

- 不審者侵入への予防
- 不審者侵入時の対応

2. 園児への不適切な関わり

- 児童虐待と危機管理
- 児童虐待に関する通告義務
- 保護者等による虐待への対応
- 職員による園児への不適切な関わりとは
- 職員による園児への不適切な関わりの予防
- 職員による園児への不適切な関わりを発見した時の対応

資料

- 学校保健安全法
- 児童虐待の防止等に関する法律
- 保育所保育指針
- 幼稚園教育要領
- 幼稚園設置基準
- 教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のガイドラインについて（抄）【事故防止のための取組み】【事故発生時の対応】
- ノロウイルスの感染症・食中毒予防対策について
- 大規模食中毒対策等について【別添】大量調理施設衛生管理マニュアル
- 児童虐待防止対策におけるルールの徹底について
- 熱中症事故の防止について（依頼）
- 危険のある動植物への対応リスト（分類ごと・50音順）

内容を一部変更することがありますので、ご了承ください。